

電気を安全に使いましょう!

電気設備の
点検・調査に
うかがいました

✓ ご自宅の
点検・調査結果の
お知らせがあります
.....
ウラ表紙を
ご確認ください



この点検・調査にともなう費用は**無料**です。

経済産業大臣登録調査機関



HESIA

一般財団法人 **北陸電気保安協会**

Hokuriku Electrical Safety Inspection Association

ホームページアドレス <https://www.hokuriku-dhk.or.jp/>



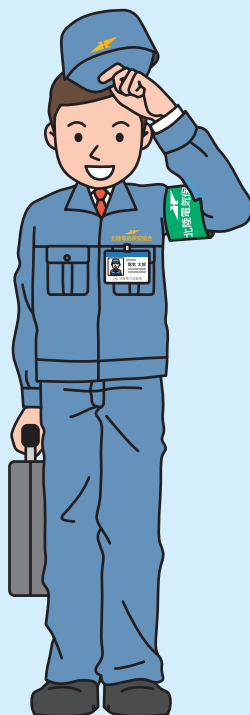
北陸電力送配電株式会社

電気設備の 安全調査を ご存知ですか？

私たち北陸電気保安協会は、
電気を安全・便利にお使いいただくため、
屋内電気設備の定期的な点検・調査を
実施しています。



この調査は、漏電の測定
や配線の安全点検などを
無料で実施するものです。
(お客さまの設備の改修が必要な
場合、工事手配及び修理費用は
お客さまのご負担となります。)



調査員は、**北陸電力送配電株式会社**から
委託を受けていることを証明する、
「業務委託証明証」を着用しております。
ご確認ください。

「安全調査」は、法律に従い4年に1度以上、お客さまの電気
設備の安全点検を実施するもので、北陸電力送配電株式会
社が委託する「調査機関」がお伺いいたします。
(一部のお客さまにつきましては、毎年調査を実施しています。)

毎年調査の対象となるお客さま

寝たきりのご老人宅

一人でお住まいの場合に限ります

以下の施設においては、電灯・動力の合計契約電力が10kW以上の場合

プール施設

自治体または公益法人が所有するもの

公衆浴場

以下の施設については、毎年調査の対象外となります
・蒸気浴を行うもの
・電熱器等を熱源として高温低湿の空気を利用するもの
・個室において接客する役務を提供するもの

学校施設

幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校

保育施設

保育園、こども園

病院・診療所

患者を入院させるための施設を有する場合に限ります

老人福祉施設

老人デイサービスセンター、老人短期入所施設、養護老人ホーム、
特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、老人福祉センター及び
老人介護支援センター等の施設

重要文化財

重要文化財のうち、建築設備に限ります

(対象の施設が否かご不明な場合は、当社へお問い合わせください)

お客さまの電気設備は、お客さまの大切な財産です。
安全に電気をご使用いただくために、この小冊子をお手元に保存
いただき、日常の点検をおすすめいたします。

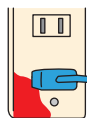
あなたの家は大丈夫ですか？

大掃除の機会、冷房や暖房の使用開始の時など、定期点検の日と決めて、ご家族みんなで電気の安全を見直しましょう。

※日常の点検のポイントには下記の内容があります。

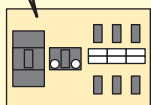
コンセント

コンセントが破損したり過熱していませんか？



分電盤

漏電ブレーカがよく切れますか？



引込線

引込線が木にさわっていませんか？

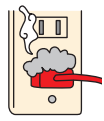
テーブルタップ

タコ足配線になって過熱していませんか？



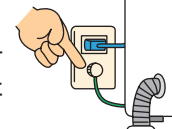
プラグ

長時間差し込んだままのプラグに綿ぼこりが溜っていませんか？



洗濯機

アース線が取り付けられていますか？また外れていませんか？



電気機械器具

傾いていませんか？

コード

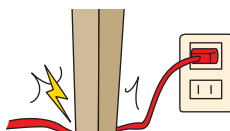
コードを途中接続したり釘等で固定していませんか？

コード

コードを束ねて使用していませんか？

コード

コードが押し潰されていませんか？



照明器具

カバーが破損したり、カバー内部に水が溜っていませんか？

屋外コンセント

雨水がかかったり、破損したりしていませんか？

屋外照明

雨水が浸入したり、倒れていませんか？

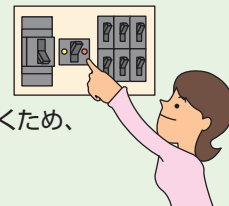
日々の注意で電気を安全に使いましょう！

電気をより安全に使用するために

取扱い説明書はキチンと保管しましょう。使用前や手入れ、点検の際に必要です。よく読んで正しく使いましょう。

日常の点検をお願いします

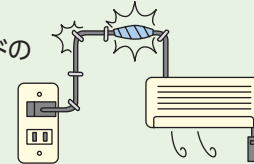
私たちがおうかがいする配線点検は、4年に1度の定期点検です。お客さま宅の電気設備は、お客さまの大切な財産です。電気を安全・便利にお使いいただくため、日常の点検を行いましょ。



素人工事は危険です

- 釘などによるコードの固定配線
- コードとコードのねじり接続
- 離れた作業小屋等へのコードの仮配線などの素人工事は火災の危険があります。

電気工事には電気工事士の資格が必要です。



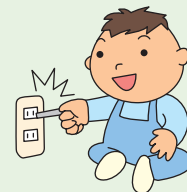
ぬれた手で電気器具にさわらない

ぬれた体は電気が通りやすくなります。感電の危険がありますのでぬれた手でプラグや電気器具に触らないようにしましょう。



お子様に注意

小さいお子様はコンセントに金属片を差し込んだり、危険な行動をする場合があります。十分ご注意ください。



危険からあなたを守る 漏電しゃ断器(漏電ブレーカ) を取り付けましょう!

電気は安全・便利・クリーンなエネルギーとして私たちの暮らしに欠かすことのできないものです。しかし、使い方をあやまるとおもわぬ事故につながることがあります。そんな事故を未然に防ぎ、電気を安全・快適にお使いいただくために、漏電しゃ断器をぜひお取り付けください。

▶ 漏電とは

電気はコードや電線以外には流れないように絶縁物で保護されています。ところが電線の被覆が傷ついたり、モーターが古くなって巻線の絶縁が悪くなったりすると、電気が他の部分に漏れてしまいます。これが漏電です。火災や感電災害の原因となります。

▶ 感電とは

漏電している器具に触れると、電気はその人の体を通り大地に流れていきます。これが「感電」です。からだの水にぬれると電気が通りやすくなるので、ぬれた手では電気器具をさわらないようにしましょう。

▶ 漏電しゃ断器のしくみ

正しく電気器具を使用しているときは、電気回路に入ってくる電気と出ていく電気の量は同じです。もし漏電があると、回路以外に電気が流れるため、出ていく電気が少なくなります。漏電しゃ断器は、この電流の差をすばやく感知して、瞬時に電気をしゃ断します。この間0.1秒以内という速さです。

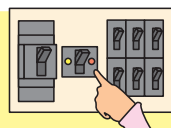
▶ 漏電しゃ断器の種類と価格

漏電しゃ断器の本体価格は容量、タイプ、屋内配線が単相2線式か、単相3線式かなどによって違います。取り付け工事費は取り付け場所、分電盤の取り替えが必要かどうかで違います。

「漏電しゃ断器」のテストのお願い

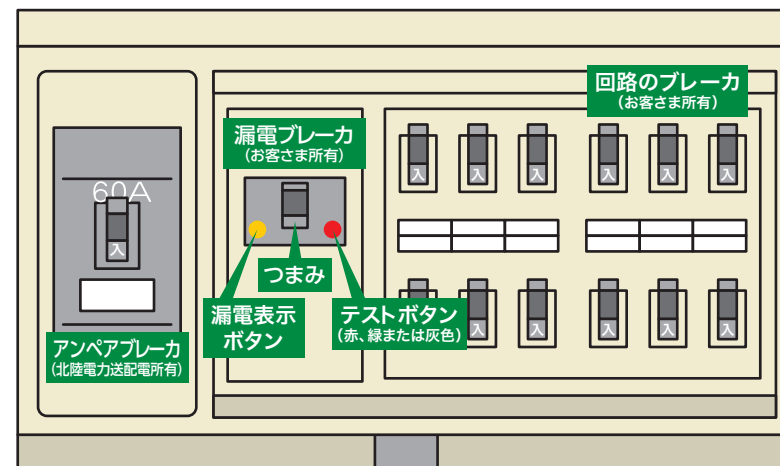
漏電しゃ断器が正常に動くかどうか、定期的なテストを行いましょう。

(漏電しゃ断器のテストには停電を伴います。)



漏電しゃ断器のテストボタンを押してつまみが動作し停電すればOK。

テスト後の復帰方法はP9「漏電ブレーカのつまみの上げ方」参照



注1) アンペアブレーカは、ご契約の種類等により取り付けない場合があります。

注2) スマートメーターに内蔵されたアンペアブレーカが電気の使い過ぎにより動作した場合は、しばらくお待ちいただきますと自動的に電気が復旧します。短時間に使い過ぎによる停電・復帰を繰り返しますと、安全のため自動復帰を停止します。その場合は北陸電力送配電へご連絡ください。

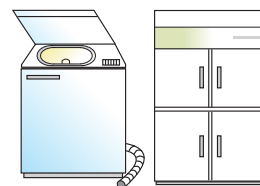
※漏電ブレーカまたは回路のブレーカが動作した場合は、自動復帰いたしません。

感電防止にはアースも必要です。

万一電気が漏れたときも事故を避けるため、電気は大地に逃す必要があります。この役目を果たするのが「アース」(地中深く埋め込んだ銅棒などと電気器具とを電線で接続すること)です。

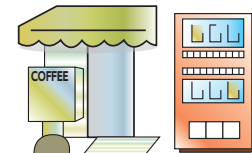
こんな所の電気器具にはアースと漏電しゃ断器を取り付けましょう!

【水気・湿気のある場所】



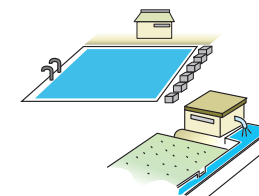
洗濯機・衣類乾燥機、給湯ボイラー、調理場の冷凍・冷蔵庫、ドライクリーニング機器、ガソリンスタンド洗車機など

【屋 外】



自動販売機、ショウケース、路上設置の移動看板、井戸ポンプ、池などの照明灯・泉水クリーナー、庭園灯、クレーリングタワーなど

【動力(3相3線式200ボルト)】



パッケージ型・セパレート型エアコン、ドライクリーニング機器、農事用ポンプ、プール用給排水機器など

災害時の 安全対策は万全ですか？

地震や台風などの災害は、事前の備えが大切です。
発生したらあわてず安全チェックをお願いします。

地震時の対応について

CHECK

スイッチを切り、プラグを抜く

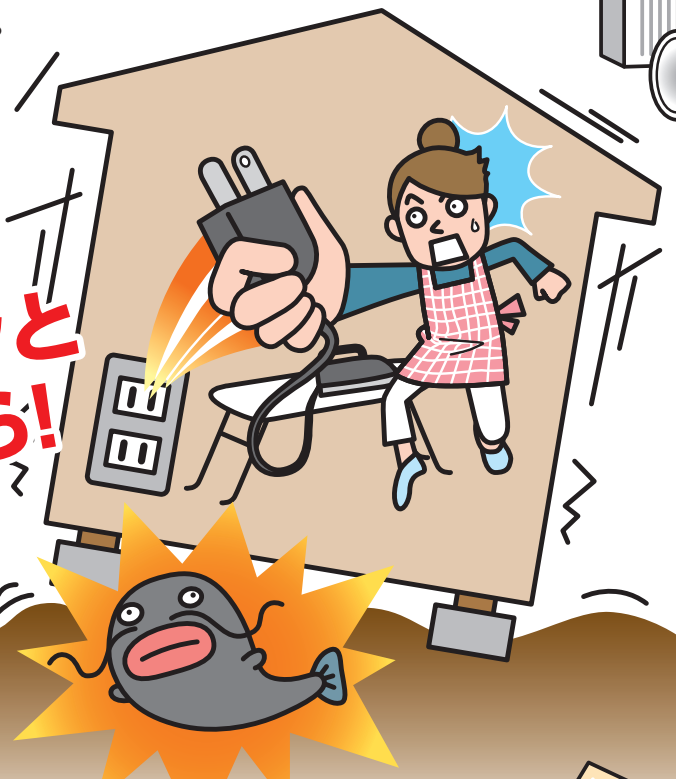
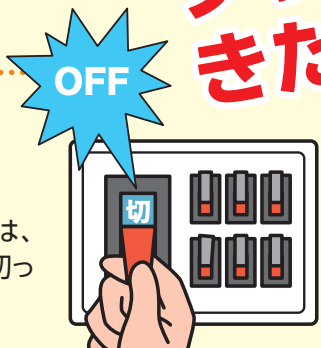
アイロンやドライヤーなどの
熱機器はプラグをコンセント
から抜いてください。

ブレーカを 「切り」にする

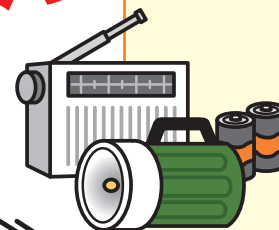
家の外に避難する時は、
分電盤のブレーカを切っ
てください。

OFF

グラツと
きたら！



突然、
まっくら！



災害時に備えて

CHECK

懐中電灯やラジオの準備

地震などの災害による突然の停電に役立
つ懐中電灯、情報を得るためのラジオは、
すぐ手に取れるわかりやすいところに置
いておきましょう。電池の点検も忘れずに。

避難時の注意

CHECK

切れた電線には 絶対さわらない

地震や台風の時は特に注意が
が必要です。感電する危険があり
ますので、北陸電力送配電へ
ご連絡ください。



あ、電線が！

台風接近に備えて

CHECK

強風による飛散の防止

強風で飛ばされたビニールシートや
看板・ビニールハウスが電線に引っか
かり、停電することがあります。
強風前には、飛ばされないように固定
するなどの備えをお願いします。



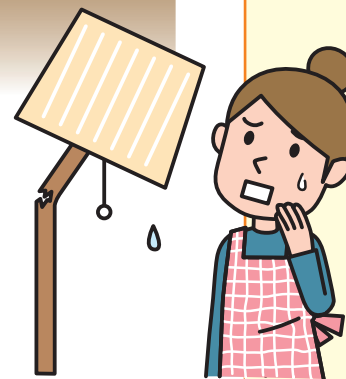
あ、電線に！

使用上の注意

CHECK

器具の使用は点検後

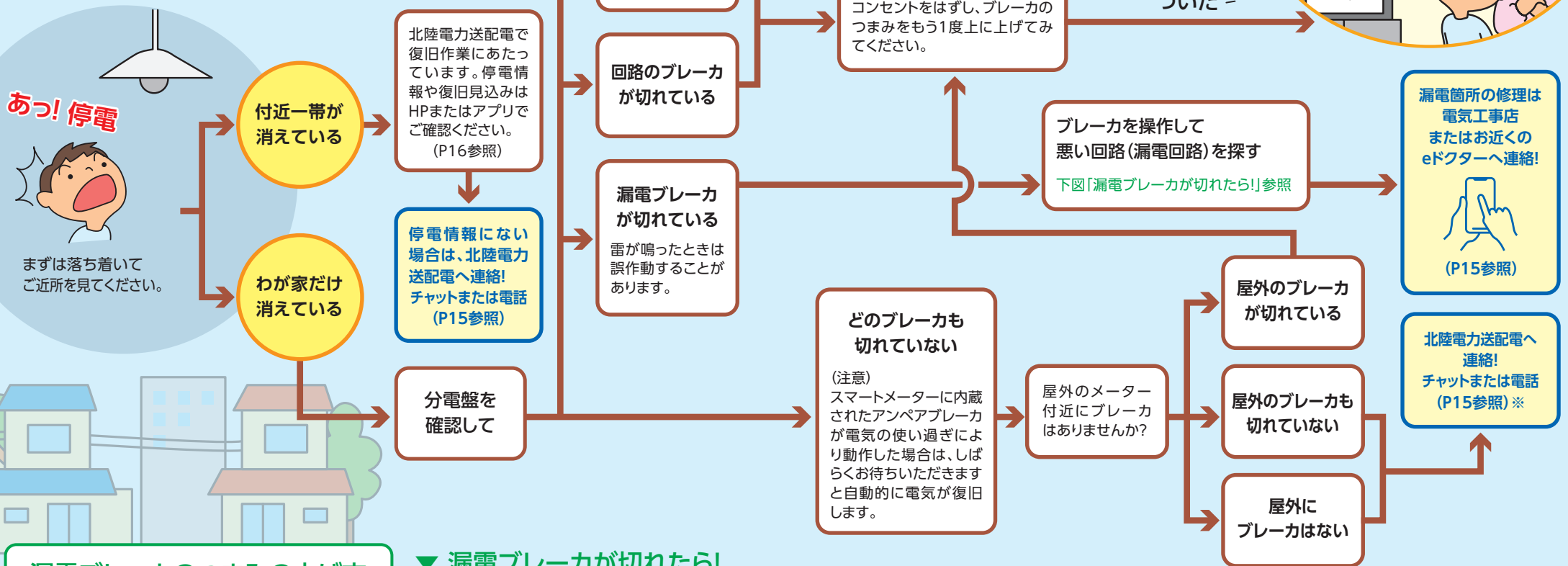
水に浸かったり、破損したものは、電
気店などに点検を依頼してください。



器具は使える？

もしも電気が消えたら…

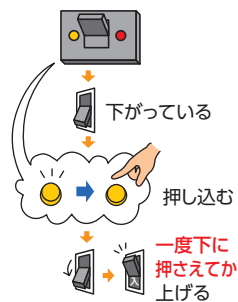
停電の原因として、まず考えられるのは電気器具の故障、またはブレーカの動作によるものがほとんどです。突然電気が消えた時はこの絵の要領で処置してください。



漏电ブレーカのつまみの上げ方

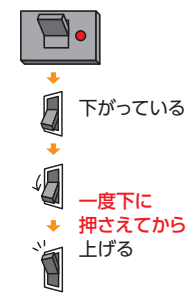
●漏电表示ボタン

(白または黄色)があるもの



●漏电表示ボタン

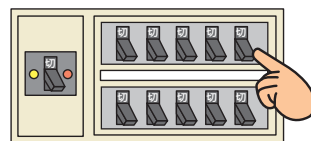
(白または黄色)がないもの



▼ 漏电ブレーカが切れたら!

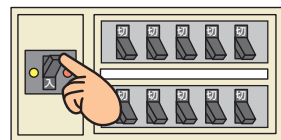
1

回路のブレーカのつまみを全部「切」にしてください。



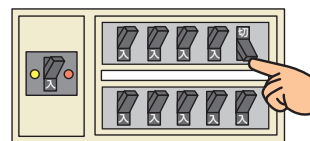
2

漏电ブレーカのつまみを「入」にしてください。



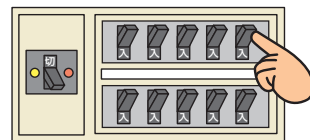
3

回路のブレーカのつまみをひとつずつ「入」にしてください。



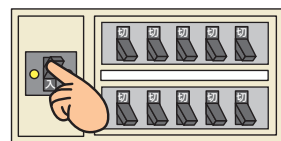
4

もし回路のブレーカを入れた時に再び漏电ブレーカが切れたら、その回路に漏电があります。



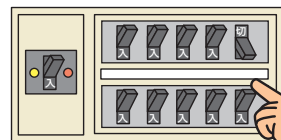
5

悪い回路(漏电)のブレーカを「切」にし、再び漏电ブレーカのつまみを入れてください。



6

悪い回路以外の回路のブレーカを「入」にしてください。



※北陸電力送配電の作業員がお伺いし、電気設備の点検・調査を行います。
停電の原因がお客さまの電気設備であった場合、有償となる場合があります。(でんきお助けサービス)

北陸電力送配電からのお願い

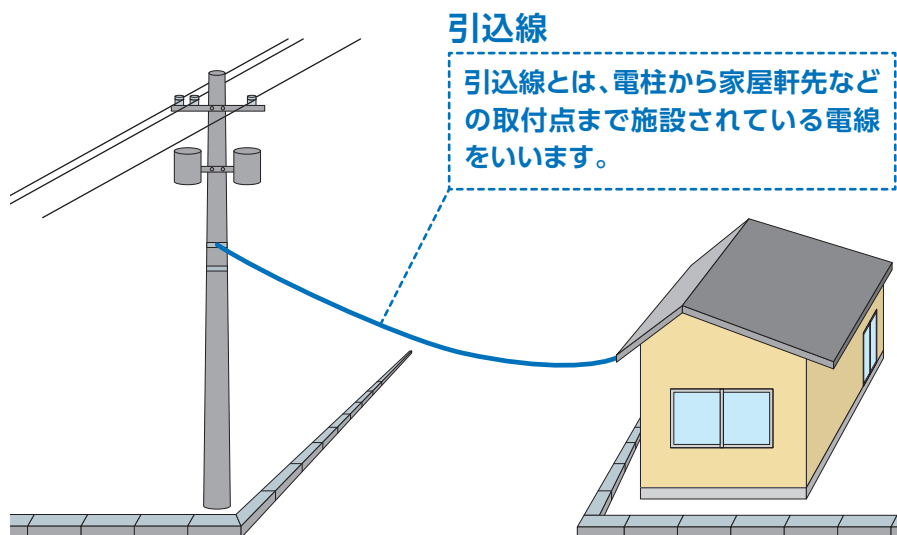
電線の火花を発見したら 北陸電力送配電まで ご連絡ください!

気温が下がり雨が降ると、電線の劣化などにより、引込線から火花が出ることがあります。

引込線は燃えにくい材質であるため、燃え広がることはありませんが、火花を発見された場合は、当社までご連絡をお願いします。

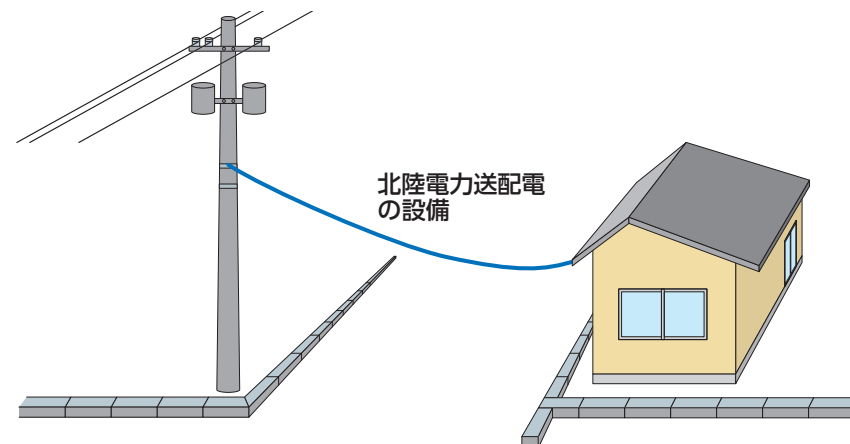
なお、当社では、計画的に引込線の張替工事を実施しております。

※お客さまの引込線が劣化した場合は、お客さまにて張替工事を手配していただく必要があります。

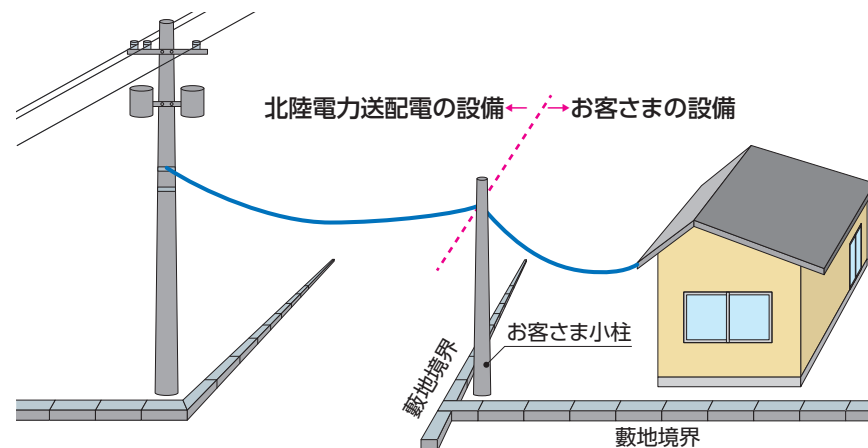


引込線の代表的な施設例

施設例①／電柱から直接お客さま宅に引き込んでいる場合



施設例②／電柱からお客さま小柱を経由して引き込んでいる場合



上記はあくまで代表的な例ですので、ご不明な点があれば北陸電力送配電にご確認ください。

チャットのご利用はこちら

全日
24時間



北陸電力送配電 フリーダイヤル

〈コンタクトセンター〉

☎ 0120-837119

受付時間：月曜～金曜 9時～17時 祝日、5/1、年末年始（12/29～1/3）を除く
（停電など、緊急時は時間外でも受付を行っています）



お知らせ

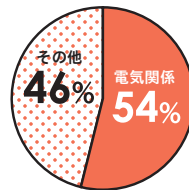
地震の時、自動で電気を遮断できる
感震ブレーカーをつけましょう

ご存じですか？ 地震による火災の過半数は 電気が原因という事実。



東日本大震災における本震による火災全111件のうち、原因が特定されたものが108件。そのうち過半数が**電気関係の出火**でした。地震が引き起こす電気火災とは、**地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、停電が復旧したときに発生する火災のことです。**

東日本大震災における火災の発生原因

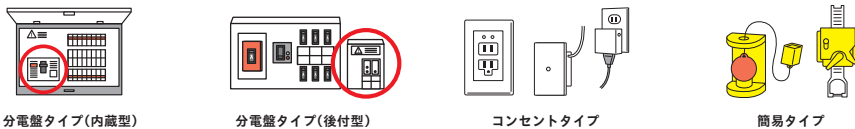


※日本火災学会誌「2011年東日本大震災 火災等調査報告書」より作成

電気火災対策には、**感震ブレーカー**が効果的です。

「**感震ブレーカー**」は、地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

主な感震ブレーカーの種類



感震ブレーカーは、**延焼危険性や避難困難度が特に高い「地震時等の電気火災の発生・延焼等の危険解消に取り組むべき地域」**(※1) 及び「**防火地域・準防火地域**」(※2) において、**緊急的・重点的な普及促進が必要とされています。**

内線規程(※3)において、感震ブレーカー(分電盤タイプ)の「地震時等の電気火災の発生・延焼等の危険解消に取り組むべき地域」の全ての住宅等及び「防火地域・準防火地域」の住宅等への設置が勧告的事項となり、それ以外の住宅等への設置が推奨的事項となります。

※1 地震時等の電気火災の発生・延焼等の危険解消に優先的に取り組むべきとして地方自治体が指定した地域のことです。(詳細については、大規模地震時の電気火災抑制策の検討について(報告)(平成30年3月)を参照してください。)

※2 都市計画法に基づく「防火地域・準防火地域」の木造及び鉄骨造の住宅等(共に耐火建築物を除く。)です。

※3 「内線規程」とは、電気需要場所における電気設備の保安を確保することを目的として作成された民間規格です。設計、施工についての技術的な事項をすべて包含し、これをわかりやすく記述したもので、(一社)日本電気協会需要設備専門部会において作成されました。

感震ブレーカー設置の留意点

製品ごとの特徴・留意点を踏まえ、適切に選びましょう！

分電盤タイプ(内蔵型)

費用：約5～8万円(標準的なもの)
※電気工事が必要

分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

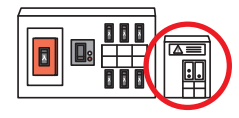


分電盤タイプ(後付型)

費用：約2万円
※電気工事が必要

分電盤に感震機能を外付けするタイプで、センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

※漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能



コンセントタイプ

費用：約5千円～2万円程度

コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断します。

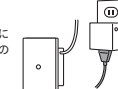
(埋込型)
壁面などに取り付け
て使うもの

※電気工事が必要



(タップ型)
既存のコンセントに
差し込んで使うもの

※電気工事が不要

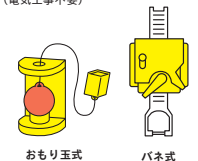


簡易タイプ

費用：約2～4千円程度

※ホームセンターや家電量販店で購入可能
(電気工事不要)

ばねの作動や重りの落下などによりブレーカーを切って電気を遮断します。



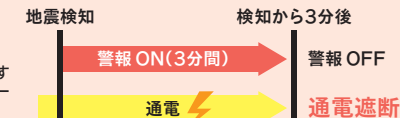
おもり玉式

バネ式

感震装置のはたらき【分電盤タイプの場合】

基本動作

地震探知後、3分が経過すると、主幹漏電ブレーカーを自動遮断します。



地震探知後3分以内に 停電が発生した場合

復電直後に主幹漏電ブレーカーを自動遮断します。

感震ブレーカーの設定に際しては、
急に電気が止まっても困らないための対策と合わせて取り組む必要があります。

- 生命の維持に直結するような医療用機器を設置している場合、停電に対処できるバッテリー等を備えてください。
- 夜間の照明確保のために、停電時に作動する足元灯や懐中電灯などの照明器具を常備しましょう。

※感震ブレーカーの設置に関わらず、地震時やその他の自然災害時にも大規模な停電が発生するおそれがあることから、平時から停電対策に取り組みましょう。

耐震対策等と合わせて取り組むとさらに効果的です。

- 避難路の確保等のために、建物の耐震化や家具の転倒防止等に取り組みましょう。
- 復電する場合には、事前にガス漏れ等がないことの確認や、電気製品の安全の確認を行ってください。
- 仮に、復電後、焦げたような臭いを感じた場合には、直ちにブレーカーを遮断し、再度、安全確認を行い、原因が分からない場合には電気の使用を見合わせる必要があります。
- 定期的な作動性能の確認や、必要に応じて部品等の交換を行いましょう。

この資料に関するお問い合わせ先

○ 内閣府政策統括官(防災担当) 〒100-8914 東京都千代田区永田町1丁目6番1号 中央合同庁舎第8号館
TEL: (03)-5253-2111(大代表)
ホームページ(<https://www.bousai.go.jp/jishin/syuto/denkikasaitaisaku/index.html>)

○ 消防庁 予防課 〒100-8927 東京都千代田区霞が関2丁目1番2号 TEL: (03)-5253-7523

○ 経済産業省産業保安グループ 電力安全課 〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3番1号 TEL: (03)-3501-1511
ホームページ(https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/oshirase/2015/10/270105-1.html)

感震ブレーカー購入に関して:電気工事を伴うものは近隣の電気工事店へ、電気工事を伴わないものは近隣の防災用品等を取り扱うお店へお問い合わせください。

町の電気のお医者さん eドクターのご紹介

電気工事はお知り合いまたはお近くの「eドクター」など電気工事店にお申込みください。

◎ eドクターとは？

お客さまの住宅電気設備不良に対し、迅速に修理を行うお店が「eドクター」です。住宅電気設備に関する診断・相談などを行っています。

◎ 電気に関してお困りのことはなんでもどうぞ。

- * 停電になった。 * 電気がつかない。
- * 電気設備工事について相談したい。
- * 電気設備を安全に使いたい。 などなど



お近くの「eドクター」については
ホームページをご覧ください。

https://www.rikuden.co.jp/nw_edoctor/



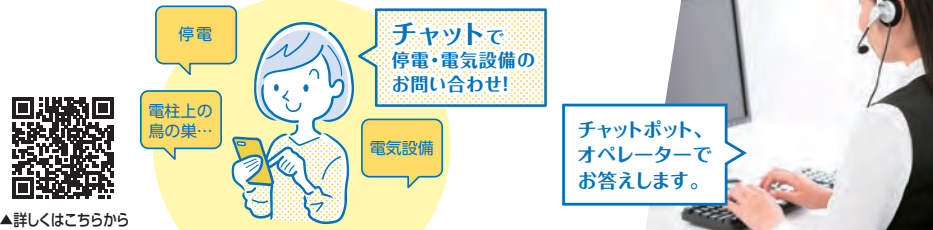
北陸電力送配電 連絡先

停電・電気の設備に関するお問い合わせはチャットをご利用ください。チャットには北陸電力送配電ホームページからアクセスできます。

「でんきお助けサービス」について

お客さまの電気設備が原因で停電が発生した際に、北陸電力送配電の作業員がお伺いし、お客さまの電気設備の点検・調査を行う有償サービスです。

※北陸電力送配電の電気設備が原因の場合は、北陸電力送配電にて調査・改修を行いますので、お客さまに費用を請求することはありません。



▲詳しくはこちらから

<コンタクトセンター> お電話▶ 0120-837119

受付時間：月曜～金曜 9時～17時 祝日、5/1、年末年始（12/29～1/3）を除く（停電など、緊急時は時間外でも受付を行っております）

“ニセ”調査員にご注意！

最近、電力会社や保安協会の名をかたり、調査費用や工事代金を請求する等の事件が発生しています。

調査員は調査機関名の入った「制服」、「腕章」および、北陸電力送配電株式会社から委託された調査員であることを証明する顔写真入りの「業務委託証明書」を着用しています。また、お客さまに直接費用等を請求することはありません。

万一、ご不審なことがありましたら北陸電気保安協会または北陸電力送配電株式会社へご連絡ください。

また、被害をこうむられた場合は、警察への連絡もお願いします。



※イラストは参考です

災害時のもしものために！

北陸電力送配電のスマホアプリ

“停電情報お知らせサービス”が便利です！

アプリを開いていなくても設定した地域（最大12件）の停電情報をスマホに“プッシュ通知”でお届けします。

停電発生

復旧見込時刻

停電復旧



北陸停電情報
停電発生のお知らせ
対象地域：富山県富山市牛島町

アプリのダウンロードはこちらから

App Store
ダウンロード

推奨環境
iOS13.0以上

Google Play
で手に入れよう

推奨環境
Android9.0以上



※アプリのダウンロードや利用に伴うパケット通信料はお客さまのご負担となります。※バージョンの互換性は各ストアでご確認ください。

お困りの場合はこちらを検索！



よくお寄せいただくご質問を
随時更新し掲載しています。

北陸電力送配電FAQ



調査の結果(ウラ表紙をご確認ください)・・・

「漏電の疑いがあります」と通知のあったお客さま

今回の調査では、簡易的な漏電調査を実施させていただきましたが、その結果、漏電の疑いがあることを確認いたしました。

漏電していないか確認するためには、お客さま立ち合いのもと、停電での屋内調査が必要です。停電による調査は、下記時間帯で実施しますのでお申し出ください。



【漏電調査の対応日時】

月～金曜日 9:00～17:00

(祝日・年末年始等を除く)

※連絡先はウラ表紙をご確認ください

別紙「電気設備の不良箇所のお知らせ[定期用]」

に記載された漏れ電流の測定値が1.0mA(ミリアンペア)を超えると、漏電の疑いがあります。

■「電気設備の不良箇所のお知らせ」の記載例

- 本日、電気設備の安全調査をさせていただきました。
結果は以下の通りです。

☑ 漏電の疑いがあります

漏れ電流計による測定結果、漏電の疑いがあります。電気設備の停電による点検を行う必要がありますので、ご都合のよい日時をご連絡ください。

チェック!

測定値【 1.2 ミリアンペア mA 】

- 停電による調査の結果、漏電は発生しておらず、電気の使用に問題がない場合があります。
- なお、この漏電調査の費用は無料ですが、お客さまご自身で電気工事店に点検や修理の手配を行う場合の費用はお客さま負担となります。

電気を安全にご使用いただくため停電点検をお願いします

停電時間は10分程度です。停電により影響を受ける恐れがあるものについて、あらかじめ注意お願いいたします。(パソコン、エアコンなどの家電製品等)

◎お客さま電気設備安全調査のお知らせ

調査日	年 月 日	様
北陸電力送配電は、電気事業法（第57条）の定めにより、国に登録された下記調査機関へ委託して調査を実施いたしました。なお、調査にあたっての費用は頂きません。 ※電気のご契約先（小売電気事業者）に関わらず、北陸エリアで電気をお使いのご家庭の「安全調査」は、北陸電力送配電（一般送配電事業者）が実施することが法令で定められています。		調査員

調査の結果

- ☐ 安全にご使用できます ▶ 詳しくは下記をご覧ください。
☐ 漏電の疑いがあります ▶ 詳しくはP.18をご覧ください。
☐ 改修の必要な場所があります ▶ 詳しくは別紙「不良箇所のお知らせ」をご覧ください。

① 引込口(屋外)配線

- ☐ 電線固定状況
☐ 引込口の保護
☐ 電線損傷又はその恐れ

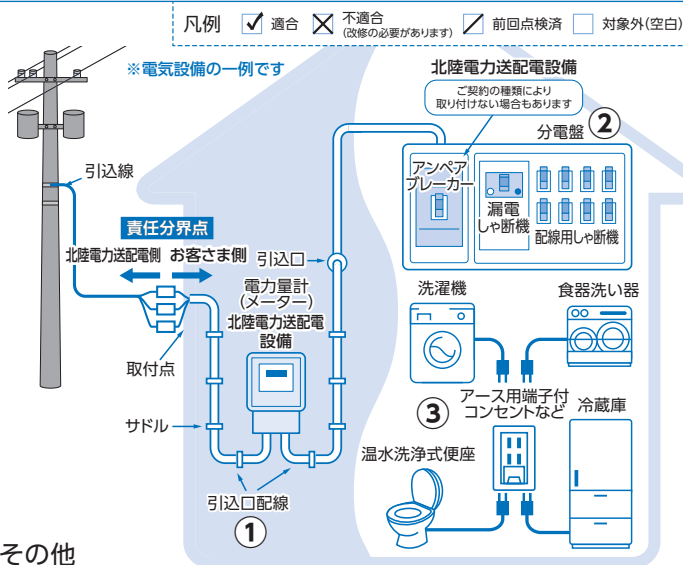
② 分電盤

- ☐ ブレーカ容量
☐ 分電盤内の状況
☐ ブレーカ端子ネジ締付け

③ 屋内配線・器具など

- ☐ 屋内配線の状況
☐ 機器の接地の状況
☐ 配線器具の状況

- ☐ 漏電測定 ☐ その他



お知らせ

◎ご不在のお客さま

時 分 頃にお伺いしましたが、
ご不在でした。

誠に勝手ながら、屋外の電気メーター付近で漏電の有無を点検いたしました（上記点検結果をご覧ください）。なお、屋内の点検をご希望の方、また今回の調査に関するお問い合わせは下記へお願い致します。

一般財団法人 北陸電気保安協会 経済産業大臣登録調査機関 【お問い合わせ】平日 9時～17時



北陸電力送配電

経済産業大臣登録調査機関



一般財団法人 北陸電気保安協会
Hokuriku Electrical Safety Inspection Association

「漏電しゃ断器」のテストのお願い
漏電しゃ断器が正常に働くかどうか、定期的なテストを行いましょう。